

2021年2月24日

報道関係者各位

東急不動産株式会社

～大崎・五反田エリア活性化の一翼を担う街づくり～ 「東五反田二丁目第3地区第一種市街地再開発事業」 参加組合員予定者協定書の締結について

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）は、東京都品川区で再開発事業の検討を進めている東五反田二丁目第3地区市街地再開発準備組合が実施した参加組合員募集において事業企画提案を行った結果、参加組合員予定者に選定され、2021年2月4日付で「東五反田二丁目第3地区第一種市街地再開発事業 参加組合員予定者協定書」を締結いたしましたのでお知らせします。

今回再開発事業が計画されている東五反田二丁目第3地区（以下、「当地区」という。）は、大崎駅と五反田駅間に位置しており、当地区の周辺では段階的な開発によって公園等のオープンスペースや道路整備が進められてきました。当地区の南側は目黒川に面しており、周辺には品川区立日野学園・品川区立総合体育館や当地区同様に市街地再開発事業で整備されたパークタワーグランスカイ、オーバルコート等が立地しています。

当地区内には約30棟の建物が存在し、築35年以上経過している建物が約6割を占めております。また、当地区内には歩道が無い箇所や狭い道路があることから安全性・防災性の課題があります。こうした課題を解決し、地域のシンボルである目黒川に面する環境を活かしたまちづくりを推進するため、再開発事業によって土地の合理的かつ健全な高度利用を行い、耐震性に優れた建築物の整備、道路・歩行者空間の整備及び公園や広場等の整備による目黒川の親水空間の形成を図ることを目指します。

当社は総合デベロッパーとして、首都圏エリアで「渋谷フクラス」など多くの再開発事業に取り組んでまいりました。当社がこれまでに培ってきた複合再開発事業におけるノウハウと経験に加え、東急不動産ホールディングスグループ全体で持つ幅広い事業領域を活かすことで、地元の地権者の皆様、周辺地域の皆様、事業関係者の皆様と共に、当地区のまちづくり実現に貢献して参ります。



■ 再開発事業の概要

事業名：東五反田二丁目第3地区第一種市街地再開発事業

所在地：東京都品川区東五反田二丁目の一部

地区面積：約 1.6ha

竣工：未定

	A地区（業務棟）	B地区（住宅棟）	C地区（公園）
敷地面積	約 9,200 m ²	約 4,500 m ²	約 1,500 m ²
延床面積	約 70,000 m ²	約 41,000 m ²	—
主要用途	事務所・店舗	住宅・保育所	公園
建物高さ	約 GL+110m	約 GL+150m	—
階数	地上 約 20 階	地上 約 40 階	—

※記載内容は今後変更となる場合があります。

■（参考）当社の首都圏エリアでの再開発事業・大規模複合開発事業への取組み

■道玄坂一丁目駅前地区（渋谷フクラス）＜第一種市街地再開発事業・2019年竣工＞

所在地：東京都渋谷区道玄坂一丁目 2-3

施行者：道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合

主要用途：店舗、事務所等

延床面積：約 58,970 m²

■大船駅北第二地区（ブランズタワー大船）＜第一種市街地再開発事業・2020年竣工＞

所在地：神奈川県横浜市

施行者：大船駅北第二地区市街地再開発組合

主要用途：共同住宅（253戸）、店舗等

■東京ポートシティ竹芝＜都用地定借事業・2020年竣工＞

所在地：東京都港区海岸一丁目 7-1

事業主体：株式会社アルペログランデ（東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が設立した事業会社）

[オフィスタワー]

主要用途：事務所、展示場、集会所、店舗等

延床面積：約 182,052 m²

[レジデンスタワー]

主要用途：共同住宅、店舗、保育所等

住戸数：計 262 戸

■渋谷駅桜丘口地区（A、B、C街区）＜第一種市街地再開発事業・2023年度竣工予定＞

所在地：東京都渋谷区桜丘町、道玄坂一丁目、各地内

施行者：渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合

主要用途：事務所、店舗、起業支援施設、共同住宅、サービスアパートメント、教会等

総延床面積：約 254,830 m²

■白金一丁目西部中地区＜第一種市街地再開発事業・竣工時期未定＞

所在地：東京都港区白金1丁目の一部

主要用途：共同住宅（900戸程度）等

